

保健福祉企画総務課長 様

生活安全課長

大畑 誠

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の  
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成28年1月29日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>東山斎場再整備事業</p>	
<p>委員からの意見</p>	<p>委員の意見に対する回答</p>	
<p>○インターホンの位置は、風除室の近くに設置して欲しい。</p> <p>○回廊部分の横断歩道に、エスコートゾーンを設置して欲しい。</p> <p>○駐車場から入ってくる会葬者が横断歩道を渡って建物内に入ってくるルートに点字ブロックを設置して欲しい。</p> <p>○風除室を通過してエレベーターまで点字ブロックや手摺を設置して欲しい。</p> <p>○エントランスのEV側に点字や手摺を設置できないか。</p> <p>○壁際に沿って点字ブロックを設置し、インターホンやエレベーターの場所まで誘導してほしい。</p> <p>○必要最小限の位置に、台車等の支障にならないところで、有効な場所に点字ブロックを設置して欲しい。</p>	<p>○風除室の近辺にも設置します。</p> <p>○エスコートゾーンの設置を検討します。</p> <p>○用途の特性上、柵を運搬する台車(500kg)の動線上は、スムーズな運転が必要であり、またその重量から誘導ブロックを潰してしまう可能性が高いことから、誘導ブロックは敷設しないのが一般的な考えとなっています。台車が乗っても問題ない仕様の誘導ブロックなど検討し、手摺についても、高齢者や、障害のある方に配慮した計画となるよう検討し</p>	

○2階から上は、待合室からトイレ、E V  
に行く経路に点字ブロックを設置し、手  
摺についてもトイレに行く経路に設置  
して欲しい。

○壁つたいに手摺を設置し、手摺の切れる  
ところに待合室の番号(名称)を点字で  
標記して欲しい。

○障害のある方が一人で告別室、待合室に  
行けるようなハード面の整備をお願い  
したい。

○点字ブロックが設置できないのであれ  
ば、ソフト面での対応を100%して欲  
しい。

○エレベーターの片方だけに誘導ブロッ  
クがあるのはなぜか。

○階段の上りはじめ、上りおわりに点字ブ  
ロックを設置して欲しい。

○風除室内に案内板を設置して欲しい。  
○触知図等分りやすいサイン計画として  
欲しい。

○点字ブロックが無くても案内板等で、エ  
レベーターや階段の位置が分るよう  
にして欲しい

○サイン計画は見やすさ、触ってレイアウ  
トの分るものとして欲しい。

○多目的便所の内、1箇所は、麻痺の無い  
障害のある人の使用しやすい、角を背中  
に斜めに設置する両側はね上げ式手摺  
の多目的便所も設置して欲しい。

○多目的便所の回転スペースは1500  
mmでは少ない、1600mmはあった方が  
良い。

○一般便所のブース内の手摺取付位置を  
最適な位置として欲しい。

ます。

また、ハード面の整備だけではなく、ソフト面での対応にも配慮しま  
す。

○障害者対応のエレベーターを1台と  
し、誘導ブロックを設置しています。

○階段の上下に注意喚起の点字ブロッ  
クを設置します。

○見やすさ、分かり易さに配慮したサ  
イン計画とします。

○検討します。

○岡山県福祉のまちづくり条例の整備  
基準の数値を記入したものであり、1  
500mm以上は確保します。

○手摺取付位置は、最適な位置としま  
す。

○一般便所のブース内の手摺を左右勝手として欲しい。

○一般便所手洗いの手摺位置は奥が良い。

○一般便所の車いす対応手洗いは入口に近い方が良い。

○車椅子の動線に配慮した手摺の位置として欲しい。

○トイレブースの扉が回転式なのは使いにくい。

○柩運搬台車と会葬者が同じ動線なのは危なくないのか。

○会葬者用更衣室も障害のある方に配慮して欲しい。

○音だけでなく、目で見てわかる避難誘導設備を設置してほしい。

○斎場前の道路（市道東山～平井線）は交通量も多く、北側から登坂してくる車のスピードも速く危険な状態であることから、横断歩道付近の安全対策をご検討下さい。

○左右勝手に配慮した手摺配置とします。

○最適な位置に手摺を設置します。

○従来の内開き・外開きの扉の欠点に配慮して回転式の扉としており、使用方法の明示に配慮します。

○最期のお別れの儀式として、ご遺体と一緒に告別室まで行くのが、現在の火葬場の考え方となっており、職員がつき安全に配慮した運用です。

○検討します。

○検討します。

○本事業（岡山市東山斎場再整備事業）とは別事業ではありますが、道路の改良工事を予定しており、今後道路の設計を進める中で横断歩道付近の安全対策について、警察と協議しながら検討していきます。